

# 令和6年度 まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

開催日時	令和6年8月23日（金）	14時30分～15時30分
開催場所	半田市役所 庁議室	
会議次第	<b>【議題】</b> 基本目標2「市内外から人々が集い活発な交流のある『まち』をつくる」 ①所管課長説明 ②質疑 ③評価	
出席委員	（委員長）鈴木委員長 （委員）亀山委員、福井委員、河治委員、遠藤委員、沢田委員、山本委員 （欠席）林委員、福田委員	
事務局	企画課長、企画課（内田・中村）	
出席職員	観光課長、スポーツ課長	
<b>議事概要</b>		
①所管課説明	資料及び事前質問回答に基づき、説明（観光課長）	
②質疑	<b>【委員】</b> KPI「観光施設の外国人観光客入込客数」を見るに、令和5年度はインバウンドによる外国人観光客数の伸びが顕著であると思われるが、その要因はなにか。 <b>【観光課長】</b> 団体での外国人観光客はほとんどいないと思われるが、各施設における来館者数の計測方法は目視での判断であり、アンケート等も行っていないため、国籍の内訳や訪れた理由は把握できていない。 ただし、新美南吉記念館の来館者は中国人が多いとは聞いている。中国では、新美南吉の作品が以前は教科書に載っていたり、作品が出版されたりするなど、南吉作品に触れる機会があったためと考えられる。 <b>【委員】</b> 旅行系インフルエンサーを活用したとあるが、どのようなインフルエンサーに依頼したのか。外国人向けに発信しているインフルエンサーか。 <b>【観光課長】</b> 令和5年度は、全国的にフォロワーの多い「Maru」さんと、東海地方をメインに旅先を紹介している「ドコいく愛知県民」さんに依頼して発信しているが、外国人向けの発信や外国人インフルエンサーによる発信ではない。 <b>【委員】</b> これまで市内の寿司店での尾州早すしの提供食数を KPI としてきたが、この実績値が年々減少している状況である。 <b>【観光課長】</b> 市内の寿司店に尾州早すし用の別のシャリを用意していただいて提供食数を増やすというのは、寿司店の負担が大きいこと、また、寿司店自	

体も減少している現状にある。半田市の魅力的な食の PR という観点から現行戦略の KPI として設定したが、今後は方向性を修正し、醸造・発酵というテーマの中のひとつとして尾州早すしを位置付けて取り組んでいく。現在、観光協会等と連携してガストロノミーツーリズムの展開を図っている。尾州早すしに限定せず、インバウンドと相性の良い発酵食文化全般について取り扱っていききたい。

**【委員】**

スポーツイベントにおいて、スポーツ選手やインフルエンサー等を活用したことはあるか。

**【スポーツ課長】**

これまでスポーツイベントにおいてインフルエンサー等を活用した事例はない。個々のイベントにおいて、発信による費用対効果が高いと見込まれる場合は、インフルエンサーを活用することも今後検討していききたい。

スポーツイベントに関連した新たな取組としては、令和6年度に市役所庁舎前の広場にてバスケットボールの3X3の大会を開催した。本大会では、3X3の試合のほか、DJ ブースやダンス企画、農業マルシェや芸術分野のまちなかでアートといった様々な企画を複合的に実施した。今後もこうした新たなスポーツに関する取組を展開していききたい。

**【委員】**

インバウンドに関連して、愛知県のアンケート調査では、名古屋市以外の県内の自治体を訪れる外国人が少ない状況にある。近隣自治体との連携等により、誘客を進める取組はあるか。

**【観光課長】**

中部国際空港から名古屋市までの鉄道沿線上に半田市は位置しておらず、地理的に空港が近いことが観光客の増加には必ずしもつながっていない。中部国際空港の国際線は欧米の航路が少ないにもかかわらず、名古屋市へのインバウンド客には欧米の外国人も多いと聞く。東京-名古屋-大阪間でのインバウンド客の動きがあるということが想定されるため、名古屋市に訪れたインバウンド客をこちらに誘導していくことが課題である。鉄道事業者と連携しながら、広く名古屋圏の訪問先となるよう取組を進めていききたい。

**【委員】**

今後、観光施策を広域で取り組むにあたっては、東西のつながり、具体的には中部国際空港のある常滑市、半田市、西三河地域との連携やアクセスの向上が必要だと思う。これに関連して、衣浦トンネルの通行料の無料化は有効であると考えられるが、無料化に向けて動いているか。

**【観光課長】**

愛知県に無料化の要望は頻繁に行っているが、建設費用の借入を未だ償還中であること等により、ここ数年以内に無料化されることはないと思われる。

**【企画課】**

現状では、償還完了以降も有料の状態が続くという方針は聞いていない。完了時期以降は無料化されるよう引き続き要望等を行っていく。

**【委員】**

音羽蒲郡有料道路（三河湾オレンジロード）は、無料開放してから誘客効果も高まったと聞くので、ぜひ無料化を進めてほしい。

**【観光課長】**

衣浦トンネルの通行料無料化は、衣浦大橋周辺の渋滞緩和にもつながる。

**【企画課長】**

知多半島5市5町で構成される知多市町会においても、要望事項として毎年度挙げている。引き続き要望活動を続けていきたい。

**【委員】**

半田赤レンガ建物について、経費（管理運営事業：令和5年度決算額64,100千円）を投じており、イベント時以外の日常的な誘客の増加は必須といえる。来館者の増加につながる具体的な取組を検討し、進めてほしい。

**【観光課長】**

半田赤レンガ建物内の飲食店や物販店の売上額は増えているが、来館者数全体が減っていることは課題である。観光施設としての機能や歴史的・文化的施設としての機能以外に、赤レンガ建物の新たな価値を見出していく必要があると感じている。令和7年度以降は、半田市観光協会が新たに施設管理者となる。これをきっかけとして、半田市の実情や歴史・文化に精通している観光協会と連携しながら新たな取組を検討していきたい。

**【委員】**

事例として、例えば、島原市の「浜の川湧水」は空港からかなり距離があるにも関わらず、多くの観光客が訪れている。このスポットには名物の「かんざらし（白玉）」が販売されており、映えるスポットとして、インスタグラムを中心に投稿が拡散・増殖し、誘客につながっている。SNSの影響が大きい現代においては、こうしたきっかけとなるようなネタがあると誘客面でも良いと思う。

**【委員】**

半田赤レンガ建物以外の観光施設（新美南吉記念館 等）について、来館者数・利用者数の傾向はどうなっているか。

**【観光課長】**

コロナ以降、各施設への来客者数は増加傾向にある。

**【委員】**

観光入込客数は、施設への来客数以外にもイベント時の観光客数も算入しているか。また、ホテルの宿泊者数は算入しているか。

**【観光課長】**

屋外のイベント等の観光客数も計測して算入している。ホテルの宿泊者数はビジネス利用者が多いこともあり算入していない。

**【委員】**

ビジネス利用者も関係人口という点や飲食店で消費するという点から見ると、観光客ととらえてよいと思う。

③評価

**【委員】**

B評価。

観光入込客数等の指標の達成度としては低い。より一層の取組の検討が必要である。

**【委員】**

A評価。

観光分野の新たな取組等が進められている。

**【委員】**

A評価。

インフルエンサーを始めとした新たな取組が進められている。今後、半田市の魅力をさらに周知してほしい。

**【委員】**

B評価。

観光入込客数がコロナ前の水準まで回復していないが、前年度からは改善している。また、インフルエンサーの活用といった新たな取組が誘客につながっている。

**【委員】**

B評価。

観光入込客数等の指標は伸び悩んでいるが、様々な取組が進められている。

**【委員】**

A評価。

コロナ後の状況として、観光入込客数等も復調しつつある。

**【委員】**

B評価。

観光入込客数等の指標の達成度が伸び悩んでいる。目標値と実績とのかい離について、要因把握が難しいのは理解できるが、今後のためにも分析を進められるとよい。

全体としての評価は、B評価。